

「ブースター接種完了！」（船越）

つい先日、新型コロナワクチンの3回目接種を終えました。違う種類のワクチンの混合接種の良さも言われますが、私は3回ともファイザー社製でした。今回の接種を「ブースター接種」と言うようですが、ブースターとは「後押しする人」や「増幅器」といった意味で、ワクチンの効果を高め、持続させるために追加接種して、本来ある免疫機能をさらに向上させるための接種といった意味合いだそうです。本来の免疫機能は日々低下していくので、2回接種後にもかかわらず感染する「ブレイクスルー感染」があるから3回目の接種が有効ということのようです。このブレイクスルーとは「通り抜ける」という意味で、文字通りワクチンの効果を通り抜けて感染してしまうことを指すようです。なんだかコロナといったカタカナに始まり、感染症絡みのカタカナに振り回されているようで、そこに最近では、ウクライナやプーチンといった言葉もあふれ出しましたが、寒い冬が過ぎ、暖かな春が来る頃には、美しい日本語に彩られた日々を迎えられることを願っております。



今さら聞けない 経済用語

今月の教えてキーワード：【ユニコーン企業】

評価額が10億ドル以上、設立10年以内の未上場ベンチャー企業を指す。非常にまれな存在という意味を含め、伝説の生き物「一角獣（ユニコーン）」に例えられた。米国や中国に多く、この2国でユニコーン企業が全体の約8割を占めるといわれている。日本では少ないため政府が「未来投資戦略2018」において「2023年までに20社創出」を成長戦略として掲げてはいるが、人材育成や資金調達などの問題で伸び悩んでいる。

知っとこ！「税務のマメ知識」

【社長の自宅の名義について】

ある会社の社長から「自宅を購入する場合、個人名義と会社名義のどちらが良いでしょうか」という質問がありました。このような場合、自宅を会社名義にすることで土地建物に関する不動産取得税や登記にかかる登録免許税などの費用が経費として処理できます。また購入資金を借入した場合は、その利息についても経費として処理できます。さらに建物の減価償却費や、所有している間にかかる修繕費についても同様に経費とすることができます。しか



しかし会社は、社長から社宅利用料として家賃を徴収し収入に計上する必要があります。とはいえ、その金額については世間相場より安く設定することができます。このように税金などの面で考えると、自宅を個人名義より会社名義にしたほうが、経費としての処理方法や安い家賃など多くのメリットがあります。デメリットとしては借入をする場合、会社名義では住宅ローンを組むことができないので、一般的には毎月の返済や利息の支払いが個人名義の場合より増えることが多いでしょう。さらに住宅ローンを利用すれば万一、返済中に亡くなったとしても団体信用生命保険により残金を返済する必要はなくなりますが、このような恩恵も受けられません。不動産の名義を変更することは容易ではないため自身の置かれた状況を踏まえた上で慎重に判断しましょう。

今を生きる

先人の言葉

心の持ちようひとつ

「日本資本主義の父」と称される渋沢栄一という言葉。わが身に起きた事が「良い」か「悪い」かは自分自身が決めている。すべて心の持ちようひとつでどうにでもなる。